

# たんちよう

JAくしろ丹頂  
広報誌

vol.145  
2019.11

くしろ丹頂

## JAくしろ丹頂青年部 Tシャツ作りました!!



### CONTENTS

- 令和元年度 秋季地区懇談会 \_\_\_\_\_ 1
- 農協法公布記念日にあたって \_\_\_\_\_ 2
- JA 青年部交流会 \_\_\_\_\_ 3
- 2019北海道ホルスタインウインターフェア \_\_\_\_\_ 4
- 2019北のビーナスBBQまつり \_\_\_\_\_ 5
- 組合長杯ゲートボール大会 / 音別年金友の会パークゴルフ大会  
新人職員農場実習事前講習会 \_\_\_\_\_ 6
- 根釧農協監事協議会合同 道外視察研修 \_\_\_\_\_ 7~8
- 新人職員農場実習体験記 \_\_\_\_\_ 9~10
- 女性部幌呂支部視察研修 / 自給飼料ステップアップセミナー \_\_\_\_\_ 11
- 大阪教育大学ホームステイ受入 \_\_\_\_\_ 12
- 金融ディスプレイで推進中 \_\_\_\_\_ 13
- 金融課からのお知らせ / 今月のミルクレシピ \_\_\_\_\_ 14
- よつ葉乳業(株)酪農実習生アンケート \_\_\_\_\_ 15
- 普及センターだより \_\_\_\_\_ 16
- JAグループ通信 \_\_\_\_\_ 17
- ちょっと一息あたまの体操「まちがいさがし」 \_\_\_\_\_ 18
- 理事会報告/生乳生産実績/農業新聞からのお知らせ \_\_\_\_\_ 19



新人職員農場実習

# 令和元年度 秋季地区懇談会

～ 将来を見据え建設的な意見・要望等が数多く出されました～



音別会場

令和元年度 秋季地区懇談会が、10月18・21日の2日間、2会場（音別・幌呂）で開催されました。組合員の皆様方には、定期的に農作業等で大変お忙しい中、ご出席頂き誠にありがとうございました。

懇談事項として、最近の酪農・畜産情勢等、幌呂育成牧場施設新設に係る意向調査の実施結果、令和元年度下期更正計画、店舗運営のAマーケット化、第2回臨時総会の招集及び提出議案等について説明がありました。

出席した組合員の皆様方からは、今後を見据え、酪農経営の維持・発展に向けた取り組みや農協各部門における持続可能な事業運営方針等に対し具体的な質問・意見・要望等が数多く出されました。今回、組合員の皆様方から出された質問・意見・要望等は今後の事業運営に活かして参ります。



幌呂会場



## 農協法公布記念日にあたっての組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 飛田 稔 章

本年9月30日、本会は平成27年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後も引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で72年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

総合事業を展開しながら安全・安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する信用事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取り組み等、地域社会に貢献するための様々な社会的取り組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入、協同組合間による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしているところです。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきているのです。

そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところです。

昨年開催した第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取組むこととしております。

JAに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り出す社会システムの一つとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとしながら、対話運動の実践を通じて、信頼と絆を土台にした新たな協同組合の価値創造と、食と農でつながるサポーター550万人づくりによって、協同活動の輪を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業と地域社会へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げます。農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



# JA 青年部 交流会 開催!!

～ ソフトボールで心地よい汗を流し 交流を深める ～



10月17日、鶴居村球技場で、当JA青年部交流会が開催されました。鶴居及び音白支部から部員職員計23名が参加し、ソフトボール大会を実施しました。好天の下、2チーム（鶴居支部対音白支部）に分かれ、試合が行なわれました。一投一打に一喜一憂する中、好

対木投手 さあ投げたあ～

プレー珍プレーも続出し、白熱した試合展開となりました。結果、鶴居支部が勝利するも勝敗に関わらず心地よい汗を流し楽しいひと時となりました。ソフトボール大会終了後は懇親会が行なわれ、焼肉を食べながら部員同士の交流を深めました。



試合を開始しま～す!



最初はグウ～



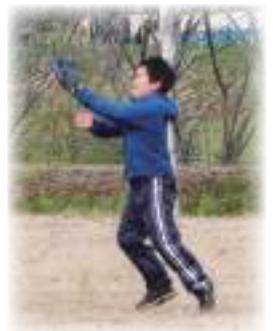
セカンドベース上何やら楽しそう



投げたし!



打って走ったし!!



絶対とったし!!!



増田選手 こっ、この構えはア～



松下選手 打った～!



腹減ったし さあ肉食うぞ～!



# 2019北海道ホルスタイン ウィンターフェア

～ 全道各地から代表牛が集結し資質を競う!! ～



10月27日、十勝農協連 家畜共進会場（音更町）で、2019年北海道ホルスタイン ウィンターフェアが開催されました。  
全道各地からホルスタイン牛138頭が出場し、久保剛氏（中標津町酪農家）が審査にあたりました。  
当JAからは、2

## 14部 林 稔幸氏

農場より3頭が出品され、全道の高レベル牛が出場するなか健闘をみせました。グラントドチャンピオンは、清水町（有田中牧場の出品牛T M F ナティールアツト アンナ エコー）（第15部6歳以上）が選出されました。主な成績及び出品者は表のとおりです。



9部 林 稔幸氏

## 入賞牛一覧表（当JA出品分）

部	順位	名 号	出品者（地区）
3部	12位	S OP コロリ ソロモン	（農）清和農場（鶴居）
9部	4位	ウツスター ジュディー スプリーム タラ	林 稔幸（白糖）
14部	2位	ウツスター ブロー ジュディー タラ ET	林 稔幸（白糖）



3部 （農）清和農場

# 2019北のビーナスBBQまつり

～ おいしい牛肉に舌鼓 青年部音白支部・根釧牛乳をPR!! ～



10月6日、音別町スケートリンク特設会場で、2019北のビーナスBBQ（バーベキュー）まつりが開催されました。  
 秋晴れの下、約1,000人の来場者が訪れ、「すだち牛」など好みの食材を購入し思い思いの場所でバーベキューを楽しみました。  
 ステージイベントでは、肉の代わりにシイタケを使った「新しいカツバーガー」の早食いや音別町産和紙「富貴紙」を使った紙飛行機飛ばし大会など様々なイベントが行なわれました。



多くの方々が焼肉を楽しみました！

JA青年部音白支部は、「よつ葉北海道根釧牛乳」の無料試飲を実施し、照井優副支部長は、「色々な方々に根釧牛乳を知って頂き、人づてにおいしさを伝えていければ嬉しい。これからも部員達とともに協力しながら積極的にPRしていきたいです。」と話して頂き、BBQまつりは大盛況のうちを終了しました。



丸焼きロース肉が無料提供されました！



盛り上がった早食い競争

## ジェイエイジャンプの普及推進

～サポーター550万人づくりへ～

当JA職員によるJAスマホアプリ「JA2MP（ジェイエイジャンプ）」の普及推進運動を実施し、ダウンロード、チェックインして頂いた皆様へ粗品（よつ葉のむヨーグルト等）を贈呈しました。  
 説明に耳を傾けて頂き大変ありがとうございました。これからもご協力お願い致します。





# JAくしろ丹頂 組合長杯ゲートボール大会 開催!!

～健康増進をはかり交流を深める～



10月17日、鶴居村ふれあいセンターで、令和1年度JAくしろ丹頂組合長杯ゲートボール大会が開催されました。健康増進と交流を兼ね、鶴居・幌呂地区のゲートボール愛

好者25名5チームが参加しました。審判長からルール説明注意等があった後、コートに分かれて競技が行なわれました。好プレーが続出するなか、中幌呂チームがみごとに優勝し、大会は盛会のうちに終了しました。



閉会式 皆様おつかれさまでした!

# JAくしろ丹頂 音別年金友の会パークゴルフ大会 開催!!

～交流を深めつつ日頃の練習の成果を発揮～



開会式の様子 これからみなさんスタートします!

10月25日、音別町運動公園パークゴルフ場で、第31回JAくしろ丹頂音別年金友の会パークゴルフ大会が開催されました。会員皆様の体力増進と懇親を深める目的で毎年開催されており、今年は19名が参加しました。ひばり及びつつじのコースに分かれた選手の皆様は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、好プレーも随所に出る中、楽しいひと時を過ごしました。



西村部長の説明をしっかりと聞いて学び中!

10月11日、研修生受入施設ひだまりで平成31年度採用職員2名を対象とした農場実習事前講習会を実施しました。当JA西村営農部長が講師となり、「酪農場で仕事をするにあたっての基礎知識」「釧路の酪農」等について学びました。今回の研修を踏まえ、10月21日から農場実習を実施し、実習を終えての体験記は9〜10ページに掲載しております。

**新人職員 農場実習 事前講習会 実施**

# 根釧農協監事協議会合同 道外視察研修報告



「根釧農協監事協議会合同視察研修会に参加して」

代表監事 齊藤和弘



日田市バイオマス資源化センター

10月2～5日の日程で行われた根釧農協監事協議会合同視察研修会に参加をしてまいりました。この視察研修は両地区の監事協議会が合同で毎年行っている研修で、今年度については九州の大大分、熊本、福岡の3県を視察して来ました。

初日は台風の影響も心配されたところですが、大きな影響もなく無事現地に到着し、懇親を深めつ



バイオマス資源化センター メタン発酵槽前にて

つ初日を終えました。二日目に入り多少雨の残る中、大大分県日田市バイオマス資源化センターを視察しました。ここでは家庭から出る生ゴミや近くの養豚堆肥などを集めメタンガスによる発電を行う施設で、平成18年からの稼働ということでした。始まった当初は電気の買取り価格が9円で大変だったが、その後国の政

策により平成26年からは収益が増え経営も安定してきたことでした。今後の課題としては施設の更新に伴う費用負担が大きな課題としてある一方で、農家や市民の期待は大きな物があり、難しい選択をしなければならぬことでした。

三日目は今回の視察で一番重要な研修先でもあるJA熊



本市の「内部統制・リスク管理や内部監査との連携の取り組み事例」を聞く意見交換会でした。JA熊本市は正組合員数8千人、販売高157億円、貯金残高1,616億円と大変大きな農協で主な生産



### JA熊本市

物としては園芸や果樹を中心とした経営体が多く、その他にも米や畜産など多様な生産がなされている地域の農協でした。JA熊本市からは代表監事と常勤監事、監査室より2名の方に出席頂きました。監事監査の概要に始まり、一通りの説明がなされた後意見交換に入りました。それぞれ農協ごとに監査の手法が違うなど、課題についてもそれぞれある中で、これまでのJA全国監査機構監査から会計監査人監査への変更に伴う課題など共通の課題などもありました。そして最終日には全国でも有数の直売所、JA糸島「伊都菜彩」を見学してきました。土曜日の朝ということもあり開店直後から多くのお客様で賑わっており、「すごい」の一言でした。

最後にまとめとして、我が釧路丹頂農協も貯金残高200億円を超え、今年度より監査体制が変わる中で今回このような研修に参加でき大変勉強になりました。今後も監事会として組合員や地域の人に安心して利用していただける農協運営を支えながら、監査業務にあたっていきたいと思います。



JA糸島 直売所 「伊都菜彩」

平成31年度  
採用職員

# 農場実習体験記

農場実習を実施した職員の貴重な酪農体験記をご報告致します。

畜産生産部・家畜改良課  
たけだはやと  
竹田颯斗

私は、10月21日の夕方から24日の夕方までの3.5日間、菊地孝範農場で実習をさせていただきました。私は実家が酪農家で、作業の流れはある程度理解したつもりでいました。しかし、実習が始まり実家とは作業形態やペース、牛の飼い方が違うことを知り、驚くことばかりでした。



初日の作業は、ベッドメイク、飼槽通路の掃除、搾乳前準備、搾乳でした。やり方を教えて頂き、ベッドの掃除をしてから牛を入れ、終わ

ったら飼槽通路を掃き、食べ残した餌を除糞通路に廃棄してからパーラーに移りました。除糞をホイールローダーで行うため、残飼を通路に廃棄できるのはすごく良いと思いました。

その後は哺乳とパーラー担当に分かれ、私はパーラーを担当しました。搾乳前のミルク準備、タオル、ミルク殺菌用の殺菌水などを準備し、準備が終了したら牛を入れ、搾乳を開始しました。ミルク殺菌用の殺菌水があることに驚きました。ディッピングの種類を分け、どの牛にどのディッピングを使うかを足のバンドで分かりやすく分けているのはとても良いと感じました。初日は、中々動けなかったと思います。

2日目は、朝、夕の作業は初日と同じでした。昼の作業は倉庫の片付けと配合飼料給与、牛の移動を行いました。配合飼料の給与量、種類を教えてくださいました。牛の移動時にフォークリフトにカゴを付けて牛をその中に入れて移動するので手で引いて連れて行くよりも楽で効率的と感じました。朝、夕の作業では、初日よりスムーズに動けたと感じました。

3日目の朝は前日と同じで、昼は倉庫の片付けを行いました。夕方の作業はベッドメイクと飼槽通路の掃除を行い、その後の作業は前日と交代し、哺乳と分娩牛たちにグラスサイレージの給与を行いました。

哺乳では、ミルクに混ぜる粉の分量や与え方などがあり驚きました。また、子牛のハッチに間があったので、疫病を予防できると思いました。離乳になると3頭ずつで群飼いでいるので、その後の群慣れもしやすいと感じました。

4日目は、3日目の夕と同じ流れでした。ハッチやペンの掃除を行い、搾乳に移ったのですが、日頃からしっかり管理されていると強く感じるほど牛がきれいでした。

最終日になって計3.5日の実習はすごく短く感じました。実習を受け入れてくださった菊地農場の皆さん、本当にありがとうございました。この実習を通して、酪農家の皆さんの支えになれるように頑張ろうと思いました。それを実現できるように精一杯努めていきたいです。



私は、3.5日という長い様で短い間、菊地農場で農場実習をさせて頂きました。私はこれまでの間で酪農には触れたことが無かったのですが、釧路丹頂農業協同組合に4月1日に入組し、酪農の知識を営農に携わる先輩方々から教えてもらい、頭の中では完璧ではないですが分かっているつもりでした。その様な状態で10月21日菊地農場へ行き緊張する気持ちと今持ち合わせている僅かな知識がどこまで通用するのか、新しいことを知るチャンスという楽しみな気持ちがある中実習を行いました。



1日目は夕作業のみとなっており、搾乳と哺乳作業をやらせて頂きました。まず、牛をベットから起こしてパーラーへ入れて、ベット掃除という流れだったのですが、最初は手際が悪く牛もベットから出てくれませんでした。しかし、反対側でフィリピン人の実習性がうまく起こしているのを見て、見様見真似でやってみると、うまく起こすことが出来ました。その次に哺乳作業を行いました。まずミルクを作る際の気を付ける点（お湯の温度、粉末の量など）を教えてください、その後実際に子牛にミルクをあげる際、気を付ける点（哺乳瓶の正面には立たない、哺乳瓶が潰れそうになったら一旦中止して空気を入れてからやるなど）を教えてくださいながら作業をしました。そしてその日の最後の作業として搾乳をしました。まず菊地大輔さんに手順を簡単に教えてもらい、ミルカーを付けてみましたがあまくつけることが出来なく手こずってしまいました。そしてディッピングを行い、菊地農場のルール（牛の足に巻かれているテープの色によって方法が異なる）を教えてくださいその日の作業は終了しました。想像していたよりも大変だったし、新しく知れる事がたくさんあってとても刺激的な1日になりました。

2～4日目までは、主に1日目の作業+エサ寄せ、水槽掃除、哺育舎のおが粉敷きなどの作業となりました。搾乳に関しましては、日を増すごとに、ミルカーを装着するのがスムーズになっていたり、準備の段階で「あ、まだこれ足りてないや」、「これまた出来ていないや」という部分を気付くことが出来るようになりました。しかし、3.5日経っても、出来ない部分だったり、フィリピン人の実習生や従業員の方程にはスムーズに出来ませんでした。その点からみて、どの仕事に対しても言える事かもしれませんが、経験を重ねることがとても大事ということを感じました。ベット掃除も日に日に速くなっているのを感じる事が出来ました。哺乳作業では最初は教えてもらいながらの作業でしたが、1人でやる機会も増え、自信を得る事が出来ました。その他の作業（子牛のおが粉敷き、水槽掃除、エサ寄せ）は、牛に対しての作業は搾乳や、哺乳だけじゃないという事を再認識しました。

全体を通しての感想は元々酪農という職はとても特殊で仕事の内容は搾乳や、牧草・デントコーンの収穫くらいしか大きくは知らなかったのですが、他にもたくさんの作業をして、最終的には良い生乳を生産する事を目的として働いているんだなど、感じました。もちろん今回の実習をさせて頂いた作業は菊地農場のほんの一部であり他にも時期や事業によって、作業も変わってくるのかもしれませんが菊地孝範さんをはじめ、奥さん、大輔さん、フィリピンの実習生、従業員の方に大変忙しい中、丁寧に作業の手順を教えてもらったので、酪農について一部ではありますが、深く知る事が出来たのではないかなと思います。この身についた知識を日々の業務の中でどれほどまでに活かすことが出来るか、結局はそこが肝心だと思うので仕事などで他の農場や菊地農場に行く機会があれば、積極的に話してみたいと思います。また作業自体とても楽しく実習することが出来ました。本当にありがとうございました。



## 女性部幌呂支部 視察研修を実施!!



10月7～9日、女性部幌呂支部は、7名の部員が参加し、上川方面他へ視察研修を実施しました。1日目は留辺蘂町「山の水族館」、2日目に美瑛町「四季彩の丘」や「青い池」、3日目に「昔からの農機具展示館 土の館」等を視察しました。部員達は、日頃見る事のできない視察地で多くの

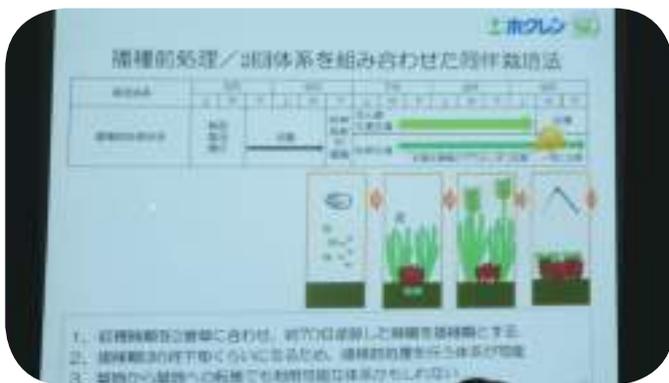


四季彩の丘

事を学ぶとともに、部員同士の懇親を深めつつ思い出に残る楽しい視察研修となりました。

## 自給飼料ステップアップセミナー 開催

～優れた自給飼料生産技術の向上を目指して～



10月24日、釧路市で、釧路農協連・釧路地区酪農対策協議会主催による「自給飼料ステップアップセミナー」が開催されました。良好な植生を維持するためのノウハウや草地改善等優れた自給飼料生産技術の普及、推進を図る目的で行なわれ、釧路管内の農業者・各関係者計



58名、当JAからは組合員、役員19名が参加しました。ホクレン酪農畜産本部 岩淵慶氏による「麦類同伴栽培について」と題し、同伴栽培の実践における良い点や注意点等について解りやすく説明頂き大変意義あるセミナーとなりました。



# 大阪教育大学 農業体験ホームステイ 受入



受入式の様子

当JAには、生徒34名（男子16名、女子18名）が4地区15戸の受入農家に入り、農家の親切丁寧な指導を受けながら、農作業等にあたりました。生徒たちは、受入農家と

10月2～3日の2日間、大阪教育大学付属高等学校池田校舎の修学旅行生164名が、根釧地区の受入農家にて農業体験ホームステイを実施しました。



の交流や貴重な体験を通して酪農に対する理解を深められた様子でした。受入にあたってご協力頂きました農家の皆様方、誠にありがとうございました。



みんなによりそうJA

# 金融窓口ディスプレイで推進中!!

～ぜひ窓口にお越しください～



©よりぞう



音別支所

白糠支所



©よりぞう



幌呂支所



本所



# みんなによいそうJA

キャンペーン期間 令和1年11月18日～12月27日

プレゼント  
あげちゃう  
ぞう!



©よりぞう

## ☆ キャンペーン対象条件 ☆

- ★ 定期貯金  
預入期間1年以上・金額10万円以上の  
新規預入  
(増額書替・定期積金満期金の預入可)
- ★ 定期積金  
契約期間1年以上・契約額12万円以上の  
新規預入
- ★ I B契約・JAカード申込  
年金受取口座指定または予約

スピードくじを  
引いて  
ほくのグッズを  
当ててね!



©よりぞう



©よりぞう

## ☆ 抽選でプレゼント ☆

- ・特賞・・・牛乳券10枚
- ・1等・・・よりぞうぬいぐるみ(中サイズ)
- ・2等・・・よりぞうぬいぐるみ(小サイズ)
- ・3等・・・よりぞうブランケット
- ・4等・・・よりぞうミニトートバック
- ・空くじ・・・マスク



©よりぞう



©よりぞう

## ☆ 抽選権 ☆

- 定期貯金・・・新規預入10万円ごとに1本  
(増額書替の場合は増額部分のみ)
- 定期積金・・・契約額12万円ごとに1本  
I B・・・新規契約者に2本
- JAカード・・・新規申込者に2本
- 年金受取口座指定・・・年金受取口座を指定して  
頂いた方に2本
- 年金受取予約・・・年金受取を当JAに予約して  
頂いた方に1本

※一人のお客様10口を上限とします。

JAくしろ丹頂

## 今月のミルクレシピ

### ～チーズのミルク茶碗蒸し～

#### 茶碗蒸しの新定番

#### 【作り方】

1. たまねぎは薄切り。しめじは石づきを切り落としてほぐす。グリーンアスパラガスは4cm長さに切り、ハムは細切りにする。
2. フライパンにサラダ油を熱し、1を順に加えて炒め、冷ましておく。
3. ボウルに卵を割り入れてほぐし、Aを混ぜる。
4. 茶碗蒸しの器に2を分けて入れ、カマンベールチーズを1切れずつ入れて3を半量ずつ注ぐ。
5. 鍋に水を入れて(器の高さの半分位が目安)火にかける。沸騰したら火を止めて4を入れる。少しずらして鍋にふたをし、弱火で8～15分間蒸す。



#### 材 料 (2人分)

たまねぎ	1/4コ	<A>	
しめじ	1/2パック	牛乳	200ml
グリーンアスパラガス	2本	水	100ml
ハム	2枚	顆粒スープの素(洋風)	小さじ2
卵	2コ	黒こしょう(粗びき)	少々
		カマンベールチーズ	2切れ(約30g)
		サラダ油	小さじ1

#### ～おいしいポイント～

鍋で手軽に作れます。とろけたチーズがアツアツの卵液になじんだ、口あたりのよい一品です。

※Jミルクホームページより転載

## ～よつ葉乳業(株)根釧工場 社員酪農実習生～

※8月22日～10月8日の期間に、よつ葉乳業(株)根釧工場の若手社員4名が当JAで酪農実習を行ないました。アンケート形式でご回答頂きましたのでご紹介致します。

- 質問**
- ①氏名
  - ②よつ葉乳業(株)での所属部署は？
  - ③出身地
  - ④実習中一番印象に残ったこと
  - ⑤実習してみて酪農の魅力は何だと思えますか
  - ⑥実習先農家さんへ一言
  - ⑦よつ葉乳業(株)のMyイチ押し商品(おすすめポイントや理由も一言)

- ①吹越 大樹
- ②製造課
- ③釧路
- ④牛の出産
- ⑤自分達で育てた牛達のミルクがたくさんの人に飲んでもらえること。
- ⑥滅多に経験できないことを経験させていただきました。
- ⑦よつ葉北海道根釧牛乳



- ①佐藤 文美
- ②品質管理課
- ③愛知県
- ④社長のご好意で、ハーベスターという牧草刈り専用機械の助手席に乗せて頂いたこと。
- ⑤・地域の人々が助け合いながら酪農業を支えている点。  
・牛の一生を見届けることができるため、無事に産まれて健康に生きるのが当たり前のことではないと再認識できる点。
- ⑥酪農に関して何もかもわからない私を快く受け入れて頂き、本当にありがとうございました。
- ⑦特選4.0牛乳  
これを飲む前は牛乳の味の違いが分かりませんでした。特選4.0牛乳を初めて飲んだ瞬間、明らかに異なる濃厚さに感動したことは今でも忘れられません。



- ①佐藤 大地
- ②製造課 乳製品係 粉乳
- ③北海道 長沼町
- ④・仔牛の出産とその親牛の死どちらも衝撃的でした。生乳が毎日送られてくる裏で生と死があり、飼育があり搾乳があることを身をもって体験することができました。
- ⑤・自然にふれ、外で汗をかく作業が魅力的だと感じました。  
私の実習期間が幸い天候に恵まれていたのですが、そんな中で従業員の方と笑いながらする仕事はとてもいいなと思います!
- ⑥・酪農の知識が一つもない私を最後まで優しく、指導していただきありがとうございました。生乳を大切にすることを忘れずに、消費者の方へおいしい乳製品が届けられるように努力します。
- ⑦・特選4.0牛乳：他ではなかなかない濃さでおいしいです。  
・のむヨーグルト



- ①村住 侑毅
- ②根釧工場製造課
- ③江別
- ④牛に好かれたり嫌われたりしたこと。  
牛にも好き嫌いがあるのだと感じた。
- ⑤乳という食品の一次生産者であることに魅力や価値を感じます。
- ⑥色々教えてくださいありがとうございました。体験させていただいた事は酪農のほんの一部とは思いますが、それでも酪農の大変さや楽しさを感じる事ができました。これからも御社の利益になりますよう努力して参ります。
- ⑦飲むヨーグルト  
独特の口あたりで濃く、おいしいので



乾乳期管理について～過肥編～

乾乳期管理を成功させることが、牛を健康に保ち、分娩前後の事故率減少や受胎率の向上等、生産性の向上につながります。

今回は、乾乳期管理でよく問題となる過肥牛の対策について、当普及センターでの活動事例を踏まえ、ご紹介します。

▼過肥が悪い理由

① 分娩時に過肥の牛は、リスクが高くなる。

② 乾物摂取量も低下し、分娩後の立ち上がりが良くない。などのリスクを抱えます。

リスクを軽減するには、牛が過肥にならないように注意しなければなりません。

▼過肥のメカニズム

泌乳後期または乾乳期のように乳生産のための栄養要求が減



写真1 過肥牛 (BCS: 3.75)

少する時期に、高エネルギー飼料が過給された場合、余剰のエネルギーが脂肪として蓄えられ、牛は過肥になります。

また、一部の過肥牛は分娩後に体脂肪を過剰に動員するため食欲が低下し、乾物摂取量が低くなります。これはボディコンディションスコア(以下BCS)の高い牛ほど乾物摂取量の立ち上がりが悪く、ケトシスや脂肪肝などの代謝リスクが高くなります。

▼過肥を防ぐために

前述とおり、乳量に対しエネルギー量が過剰になりやすい、泌乳後期から過肥の対策を行います。

対策として、

- ① 乳量に対してエネルギー必要量が過剰にならないよう、エサの濃度を調節する
- ② 定期的なBCSのモニターで牛の状態を確認する
- ③ 乳検でMUNやP/F値が適正かどうか確認する

などが考えられます。

▼過肥になってしまった場合

泌乳後期であれば、エサの濃度の見直しなどを行ってBCS

▼改善事例

A農場では、過肥牛が多く、死産割合が高かったため、分娩時のBCS3.0～3.5を目指し、過肥牛の改善を図りました。

① 泌乳後期の栄養管理

A農場はフリーストール牛舎で、乳量設定が36kg/頭・日のTMRを給与していました。それに対し実際の乳量は平均32kg/頭・日で、エネルギーの過剰摂取がみられ、泌乳後期牛のBCSは平均3.77でした。

そこで、TMR濃度を乳量設定32kg/頭・日に見直しました。

結果、BCSを3.77から3.25まで落

とし、乾乳期の変

動を少なく出来

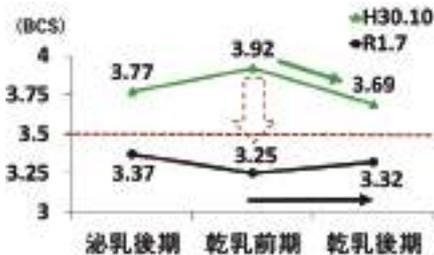


図1 BCSの推移

1。

② 放牧地を活用した運動



写真2 運動する牛はBCSを維持するために、乾乳前期牛を放牧させた (写真2)。

③ 実践結果

3.0～3.5の範囲に留めることができた

	分娩頭数 (頭)	死産頭数 (頭)	死産割合 (%)
H30(4-3月)	255	30	11.8
R1(4-7月)	95	6	7.3

図2 子牛の死産頭数割合はH30年と比較し、R1年7月時点で4.5ポイント減少させることが出来ました。

▼最後に

つなぎ飼いや分離給与など飼育方法に応じた様々な改善方法があります。

様々な改善方法については、普及センターにご相談ください。



北海道農業協同組合中央会は平成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付けを、農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるものの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役職員に対して飛田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「JA北海道中央会」のYouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと果たして参ります。



### JA北海道信連



10月5、6日、アクセスサッポロで開催された、こどものまち「ミニさっぽろ2019」に昨年に続きブース出展しました。「ミニさっぽろ」は、子ども達を対象にした職業体験のイベントであり、JAバンクのブースでは各ブースからの依頼を受けて、給料を用意する仕事を体験してもらいました。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。



### JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。

今年度も札幌地区では9月27日に約50名で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。



### ホクレン



GAP（農業生産工程管理）の推進に向け、ホクレンは、農場評価の演習を盛り込んだ実践研修会を8月26～27日に札幌市内の学校法人・八紘学園北海道農業専門学校を会場に開催しました。参加者は道央圏のJA担当者・連合会職員など約10名で、日本生産者GAP協会の田上隆多事務局長を講師とし、農場評価制度の基本学習や会場となった同校農場にて実際の調査を演習しました。参加者の各組織での今後のGAP推進に期待しています。



### JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもございますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。





# 理事会報告

## 10月定例理事会 令和元年10月30日(水)

### 報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 9月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 経営定期点検の実施結果について
6. (株)ジェイエーコムズ取締役会の報告について
7. (株)ジェイエーコムズにかかる監事監査報告について

- 議案第2号 融資の承認について  
議案第3号 固定資産の取得について

### その他協議事項

1. 秋季地区懇談会における意見・要望等について
2. 幌呂育成牧場施設新設候補地及び農地(採草地)の概況について
3. 「令和元年度台風等にかかるJAグループ支援募金」の実施について
4. 台風15号等に係る酪農経営復興支援の義援金(中酪)募集への協力について
5. 当面の業務日程について

### 付議事項

- 議案第1号 令和元年度営農振興資金の貸出条件の設定について

■令和元年度	生乳生産実績(10月)			
	月計乳量(kg)	10月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,376,505.7	100.0	59,777,944.5	99.5
鶴居地区	3,203,419.4	102.1	22,704,859.2	102.2
幌呂地区	2,202,034.4	101.5	15,715,936.2	101.4
白糠地区	1,615,381.7	97.4	11,723,924.6	98.2
音別地区	1,355,670.2	95.9	9,633,224.5	92.6
管内計	43,836,774.5	100.2	312,484,469.2	100.3
(前年度管内計)	43,745,767.4		311,480,304.5	



## 担い手に役立つ 営農技術や流通 盛りだくさん

購読のお申し込みはJAへ  
購読料 1カ月2,520円(税込)



協同の輪を広げ 自己改革を進めよう JAグループ情報共有運動

編集後記  
EDITOR'S NOTE

□今年もあと1カ月あまりとなりました。毎年思うことですが1年が過ぎるのが年々早く感じます。この時期は、秋から厳しい冬へと向かう季節の変わり目でもあります。人では、季節の変わり目の体調管理として①十分な睡眠②体温管理③免疫力を高める食事など様々な対策がありますが人も牛も動物である事に変わりなく共通する部分は数多くあると感じております。厳しい冬に備え十分な予防と対策を考えたいものです。